



# 認知症の方やその家族が地域で安心して暮らせるために

⑩ 高齢者支援課 (i プラザ 3 階) ☎ 0538-37-4831 FAX 0538-37-6495

## 知っていますか？見守りオレンジシール

市では、認知症や認知機能の低下により行方不明になる可能性がある高齢者などを対象に、見守りオレンジシールを配布しています。登録者の情報を関係機関と共有することで地域での見守り、行方不明時の早期発見につながっています。



▲「磐田市」+「登録番号」が書かれたオレンジ色のシール

靴やサンダル、杖など普段から使用している物に貼ると効果的です。

## 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業が始まりました

この事業は、認知症などにより、誤って線路に入ったり電車を止めてしまったり、他人にケガを負わせてしまったりするなど、日常生活の中で法律上の損害賠償責任を負った場合に、その責任を補償する保険に市が契約者となり加入するものです。

### 保険対象者

見守りオレンジシール登録者

### 補償額

上限1億円

### 保険料

自己負担はありません

### 申し込み

見守りオレンジシール登録および保険の受け付けは、地域包括支援センターで行っています。まずは、お近くの地域包括支援センターへ相談をお願いします。

### ご家族の行方が分からなくなってしまうときは

そんなときは、警察署へ相談しましょう。その際、見守りオレンジシールの番号を伝え、同報無線やメール配信サービス「いわたホッとライン」でシール番号が伝わり、捜索の手掛かりとなります。

### 地域で見守りましょう

地域の中で見守りオレンジシールを付けている方が道に迷っているようであれば、優しく声を掛け、必要に応じて、警察署や市（高齢者支援課）、地域包括支援センターへご連絡ください。

センター名	問い合わせ先
城山・向陽地域包括支援センター	☎0538-36-4865 FAX0538-36-4603
中部地域包括支援センター	☎0538-37-1060 FAX0538-37-0550
南部地域包括支援センター	☎0538-36-8900 FAX0538-36-8001
豊岡地域包括支援センター	☎0539-63-0500 FAX0539-63-0505
豊田地域包括支援センター	☎0538-36-1300 FAX0538-36-1301
竜洋地域包括支援センター	☎0538-66-9221 FAX0538-66-9222
福田地域包括支援センター	☎0538-58-3242 FAX0538-58-3243

# STOP生活習慣病！食事の初めは野菜から

健康増進課 (i プラザ 3 階) ☎ 0538-37-2011 FAX 0538-35-4586

いただきます

お箸をもったら



から

磐田市の管理栄養士オススメ！

生活習慣病予防のための簡単な方法、それは「**野菜から食べる**こと」です

## どうして野菜から？

食物繊維が豊富な野菜から食べることで、血糖値の急激な上昇を抑えます。血糖値を抑えることで、動脈硬化を予防し、心筋梗塞や脳梗塞などのリスクを下げるすることができます。

## 何から始めればいいのか？

サラダや炒め物、汁物など野菜を多く含むおかずを、初めに数口食べるだけ。

「いただきます」をしたら、野菜から食べましょう。野菜の他に、食物繊維を含むきのこ・海藻類でも OK です。



## 教えて栄養士さん！ Q.コーンは野菜なの？

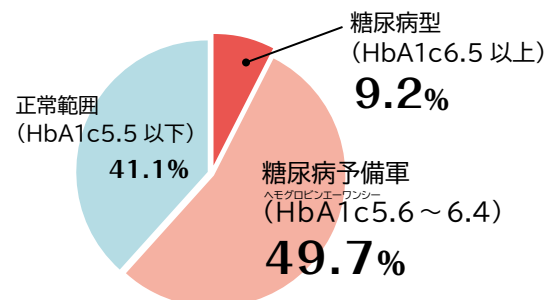
**A.コーン**は野菜ではなく**穀物**に分類されます。コーンのほかにジャガイモやサツマイモなどのイモ類は糖質が多いので食べる順番は後にしましょう。

こんな料理は順番を後に！



## あなたは大丈夫？糖尿病予備群が増加傾向！

食生活の乱れは、あらゆる生活習慣病を引き起こします。特に糖尿病は、目立った症状がないまま悪化していく病気です。市国民健康保険の特定健診結果（右図）によると、将来、半数以上の人々が糖尿病になる可能性があります。糖尿病は、重症化すると失明や心筋梗塞、脳梗塞などの危険性が高まります。将来の健康を守るため、食べる順番を見直してみませんか。



図：磐田市国保の特定健診結果（平成 30 年度）



# ひとりで悩まずに相談してみませんか？

☎ 福祉課 (い プラザ 3 階) ☎ 0538-37-4797 FAX 0538-36-1635

## 新型コロナウイルス感染症に伴う各種相談について

市では新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業などで、一時的または継続的に収入が減少し、生活費にお困りの世帯に対して支援を行っています。

### 住居確保給付金

#### ★新型コロナウイルス感染拡大により住居確保給付金の対象者が拡充されました

離職・廃業により住居を失った方、また失う恐れのある方で就職に向けた活動をするなど前提に、一定期間家賃相当額を支給します。今までの離職・廃業だけでなく、個人の責によらない理由（新型コロナウイルス感染症の影響での営業自粛など）による休業などに伴う収入減少により経済的に困窮している方も対象となります。

詳細は福祉課生活相談グループにお問い合わせください。

### 緊急小口資金特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業などで、一時的または継続的に収入が減少したことで生活費にお困りの世帯に対して、必要と認められる場合に貸し付けを行います。

支給要件など詳細については、磐田市社会福祉協議会にお問い合わせください。

☎ 磐田市社会福祉協議会 ☎ 0538-37-9617 FAX 0538-37-4866

## あなたの“困りごと”をサポート

市では日々の暮らしの中で抱える困りごとの相談を受けて、他の専門機関と連携をしながら生活の立て直しを支援しています。

### 自立相談支援事業

生活に困窮している方の困りごとがより深刻になる前にできるだけ早く安定した生活が送れるよう相談支援をします。



### 就労準備支援事業

就労先を自分でみつけられない、社会との関わりに不安がある、他の人とコミュニケーションがうまく取れないなど、すぐに就労が困難な方に基礎能力を養いながら就労に向けた伴走型の支援を提供します。

### 学習支援事業

子どもの基礎的学習の支援をはじめ、仲間や居場所づくり、進学に関する相談など子どもと保護者の双方に必要な支援をします。

予算の執行状況

( ) 内は執行率

会計名	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	706億1,676万円	604億6,238万円 (85.6%)	587億7,337万円 (83.2%)
特別会計 (国民健康保険・介護保険など)	318億7,542万円	296億5,846万円 (93.0%)	282億5,093万円 (88.6%)
公営企業会計 (上下水道事業・病院事業)	346億2,969万円	305億2,742万円 (99.6%)	336億4,449万円 (97.2%)

市の財産状況 ※基金とは、条例に基づいて積み立てた市の貯金のことです

区分	現在高
土地	529万5,582㎡
建物	53万279㎡
基金※	157億3,779万円
有価証券	8億8,538万円

種類	現在高
一般会計	481億9,720万円
特別会計	4億849万円
公営企業会計	490億9,015万円
一時借入金	0円

地方債・一時借入金  
の現在高

条例に基づき、市の財政状況を年2回公表しています。  
令和元年度下半期（令和2年3月31日現在）の予算執行状況をお知らせします。

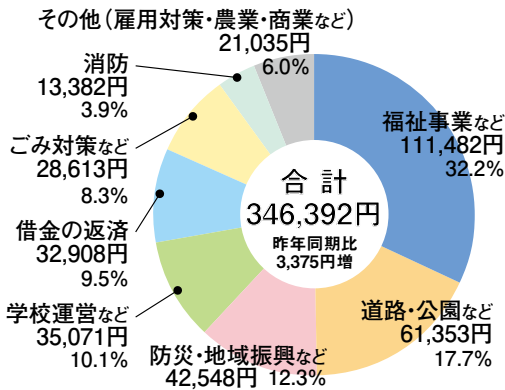
ページ番号 1002635

# 令和元年度予算執行状況

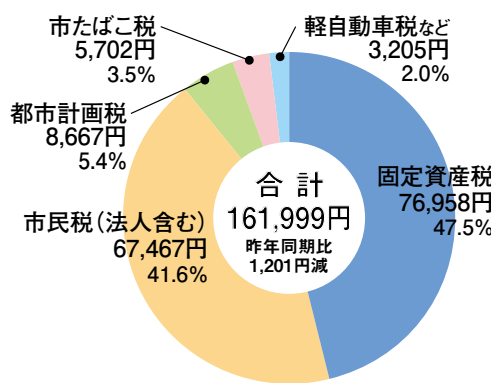
問 財政課（本庁舎4階）

TEL 0538-3737  
FAX 0538-4883

一人当たりに使われた金額（一般会計）



一人当たりの市税負担額（一般会計）



● 土地・家屋  
道路からの外観調査です。市内全域を巡回しながら土地・家屋の現況と課税状況に相違がないかを調査します。

● 調査期間／通年  
◆ 対象地域／市内全域

● 調査方法

また、令和2年1月2日以降に分筆・合筆された土地や利用状況に変更があった土地、家屋の取り壊しや用途変更などを確認します。

● 償却資産  
申告内容の確認が必要な場合は、事前に連絡の上、訪問し、国税申告書や決算書、固定資産台帳などを確認します。



※調査には「固定資産評価補助員証」を携帯した市職員が、2人1組で行います

ページ番号 1001407

# 固定資産税の実地調査を実施

問 市税課（本庁舎1階）

TEL 0538-3737  
FAX 0538-4809

## 調査へのご理解とご協力を

### 市職員による実地調査

市では、固定資産の適正な評価および公平な課税を確保するため、土地・家屋・償却資産の実地調査を行っています。

### 詳細な実地調査のお願い

（土地・家屋）

道路から見えない部分や土地・家屋の利用状況と課税状況に相違がある場合は、立ち入り調査をさせていただきます。

また、新築（増築）家屋は完成後、事前に連絡の上、現地に伺い調査をさせていただきます。



# たのしっぺい♪健幸チャレンジ

問 健康増進課 (iプラザ3階)

☎ 0538-37-2011  
FAX 0538-35-4586

## おうちで健康づくりに取り組もう

たのしっぺい♪健幸チャレンジは、皆さんの健康づくりに応援する事業です。

おうちで過ごす時間が多い今だからこそ、自分なりに目標を決めて、健康づくりに取り組んでみましょう。約1カ月間取り組むと、県内の協力店で使用できる優待カードをプレゼントします。

### 抽選で協賛品をプレゼント

期間中に優待カードを獲得した方の中から抽選で協賛企業からの景品が当たります。景品内容や当選人数はチャレンジシートをご覧ください。なお、当選者は来年3月中旬下旬に景品の発送をもってお知らせします。

## 参加手順

### ①チャレンジシートを手に入れる

#### ▶配布期間・場所

- 7月1日(水)～来年1月29日(金)
- 市ホームページから様式をダウンロード
- 健康増進課・国保年金課・各支所・各交流センター窓口で配布

### ②健康づくりに取り組む

#### ▶取り組み目標の例

- ラジオ体操やいきいき百歳体操を行う
- 食事は野菜から食べる ※11ページ参照
- 毎食後、歯磨きをする など

### ③チャレンジシートの提出

#### ▶提出期間・場所

- 8月3日(月)～来年2月26日(金)
- 健康増進課・国保年金課・各支所・各交流センター窓口へ提出または健康増進課へ郵送(〒438-0077 国府台57-7)

#### ▶優待カードプレゼント

チャレンジシートを提出いただいた方全員に優待カードをプレゼントします。

# 目指せ！食品ロスゼロ

問 ごみ対策課 (クリーンセンター内)

☎ 0538-37-4812  
FAX 0538-36-9797

## 食品ロスを減らそう

家庭から出る生ごみの中には、未開封・未使用のまま捨てられている食品、いわゆる「食品ロス」が含まれ、1人1日おにぎり1個分(約132g)を捨てているといわれています。食品ロスを減らす具体的なポイント3つ紹介します。



▲未開封の野菜など

### 削減ポイント① 買い物は適量を

冷蔵庫の中身を確認し、適量を考えて買い物しましょう。

### 削減ポイント② 食材を使いきる

調理をするときは、食材の賞味期限を確認し、期限が近いものから使用する。また、人数分の適量を考え、食べきれぬ量を作りましょう。

### 削減ポイント③ 食べきる

出来たての最もおいしい状態で食べる。残ったものは、保存の仕方を工夫し、後日食べたり、他の料理に活用したりしましょう。

### 「食品ロスゼロ」アイデアを募集

食品ロス削減のため、誰にでも取り組みやすいアイデアを募集します。

- ▼募集例／食品の捨ててしまいがちな部分の調理方法など
- ▼応募資格／市内在住の方(個人または家族、団体による応募も可)
- ▼応募方法／応募用紙は任意。住所、氏名、電話番号、具体的な取り組み内容とその効果(400字以内)を記入の上、内容の分かる写真やイラストを添えて、直接または郵送(〒438-0061 刑部島301)、FAX、Eメール (gomi-taisaku@city.iwata.lg.jp) で8月21日(金)までごみ対策課へ
- ▼表彰／優秀作品3点には表彰状および副賞を贈呈します。



※応募していただいた方全員に参加賞を差し上げます